

### 賀正特集 辰年生まれの妻を介護

はじめての在宅介護は、その慣れない環境から戸惑うことが多いと伺いました。援助のための法的な手続き、介護する方もされる方も未経験から不手際だらけで、時には感情のもつれもあるといいます。そんなことを少しでも軽減できれば……、とあるご夫婦にお願いして実体験を語っていただきました。

## 「介護して、私が必要であることがよく分かった。それが人生の喜びサ、毎日が生き返ったようだよ」

新潟市中央区にお住まいの山田章子さんは今年72歳になる辰年の年女。ご主人の仁さん（昭和12年生まれ）とは、昭和39年の新潟地震が起る少し前に結婚されました。新潟地震の起こった時、まだ小さい娘さんをご主人は銭湯に連れて行っておりまして。

湯船のお湯があふれんばかりに揺れて、「これは大変と、下着一丁で娘を抱えて銭湯を飛び出した」という豪放磊落で家族愛に満ちた方でもあります。

そのご主人は、旧国鉄・新潟機関区で働いて、蒸気機関車の釜磨き、釜炊き、その他、何でもいやな顔一つせず、職務を全うし、16年前に定年を



在宅介護に意欲を燃やす旦那様と

### 旦那様は誇りを持って語る

迎えました。好きな魚釣り、登山など趣味も豊富な方です。多情で生真面目さで人生を歩んできた、そんな幸せなお二人の順風漫歩の生活を狂わせたのが奥さんの骨折でした。骨折から歩行困難という事態を生み、介護が必要

になったのです。

しかし、プラス思考で物事に対処するご主人は、その時とばかり、懸命に介護に取り組みました。

それは、「私は介護すること、妻への愛と妻からの愛を独占した」とあふれる涙も気にせず語

ってくださいましたその半生の物語からも情熱が伝わってきます。

以下は、時間を追って、

### 9月5日 さくらメディカル新潟支店・介護ショップ新潟店にご来店

山田章子さんと当社との付き合いは、昨年9月初めにご主人に付き添われて新潟支店の介護ショップにご来店されたことから始まりです。股関節付近の骨折のため生活が不自由になり、「要介護認定の申請をしたい」とご来店されました。そして、申請の手続きとケアプランの作成を当社に依頼されました。

ご自宅ではまず、介護用ベッドを購入したいと即断されますが、認定の結果を見てから決めることを担当がアドバイス。

介護との関わりをドキュメント風にまとめてご紹介いたします。

当社の消毒をきちんと済ませたベッドを使用することで納得されました。

### 9月6日 通院と日常生活、「美容院に行きたー!」

翌日も病院通いの時間を避けて自宅を訪問してご本人を交えたご家族で話を伺いました。

骨折は痛みを伴うもので、当然薬に頼って痛みを緩和に努めざるを得ません。痛み止めの薬と注射などで4箇所の病院に通っておられました。痛みはそれでも直りません。



股関節付近の骨折で立ち上がれない章子さんは旦那様の首をテコに起き上がる

お話では、転倒直後であった前日にもご来店されて介護保険を使わずに浴室用のシャワーチェア（椅子）を購入されたということでした。そんなこともあり、午後早速、申請手続きを済ませ、ベッドを搬入、トイレの中にも手すりやレンタルで設置しました。

日常生活を送るために必要な基本動作（ADL）が日を重ねる毎に悪化してきました。

9月半ば、少しずつ痛みがひいて来て、トイレも一人で行け、入浴も浴槽のふちに腰掛けて介助してもらい、シャワー浴をするようにまで快復いたしました。

9月も末、髪を洗うのが負担になっていると漏らすご主人に、「行きつけの美容院で髪を切ったりたいが、そこは和式のトイレなので行きにくい」とご本人様が話しておりました。それに長時間の外出は筋力の衰えもあり、自信がないとも付け加えられました。

以下、次頁へつづく

前頁から

10月11日

### 「一番軽い」要支援1の認定を受ける

10月11日、要支援1の認定を受けました。一番軽い認定です。現在のサービスはそのまま受けられますが、地域包括支援センターとの契約と担当者会議が必要であるため、会議をご自宅で持ちました。この会議は、ご本人の状態を確認するために必要な会議です。地域包括支援センターは、高齢者が住み慣れた地域で、その人らしい生活を継続することができるよう保健、医療、福祉サービスをはじめ、さまざまなサービスを必要に応じて、総合的・継続的に提供し、地域における包括支援を行うところです。いわば福祉事務所と民間との間にたって行政の流れを

スムーズに行おうという機関です。

担当者会議では、ご本人の状態を確認し、現在のサービスの必要性を確認しました。その結果、さくらメディカルのケアプランが承認されました。ただ、かかりつけの医療

機関が4箇所あり、それぞれに治療法があるので内服薬が多くなるというデメリットも感じられました。しかし、どのお医者さんも熱心に病状を聞いてくれて「感動的だ！」とご主人が絶賛しておられました。

若かりし頃のご夫妻（結婚式に招待されて）



### 10月下旬～ 手引き歩行の復活 介護者としてのご主人の重要な役割

10月下旬から11月にかけて体調が芳しくありませんでしたが、11月に入ると「手引き歩行で歩けるほど回復が見られるようになってきました」というご主人からの報告があり、一安心という感がありました。それでも困っていることとして、

- ① 通院などの移動
- ② ベッドからトイレへの移動
- ③ 入浴の介助

の3点が挙げられ、①と②は住宅改修と福祉用具の利用によって、③はホームヘルパーによる入浴介助で解決しました。

移動動作の少なさは、ご本人も気にされ、「2週間も歩かなければ、筋肉が衰え、歩けなくなる」とおっ

### 12月上旬～ 在宅介護への方向性 住宅改修へ意欲

介護の体制は着々と整ってきました。

玄関の階段をスロープに切り替えることと、そのスロープをもう少し緩やかにするために距離を延長することの2例を提案し、了承されました。これらは車椅子で章子さんの屋外での活動を広げるためです。実際には、息子さんとご主人の二人に立ち会っていただ

しゃっておられました。移動動作の少なさは関節の拘縮などにも現われ始めていました。ご主人が一番適切な介護者なので、しっかり事実を把握し、それを

自己判断せずに、関係機関に報告するという大切な役割を任せている方という感想を持ちました。

### 住宅改修へ意欲



昨年末に完成した玄関先のスロープ

き、スロープの角度をお見せして納得していただきました。こういう細かい意思の疎通と了解を得ることがケアマネジャーの仕事で

### 介護簡単メニュー

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。今回はお正月料理に欠かせない簡単にできる「赤白なます」です。普通のなますは少しかためですので、今回は少し柔らかめで食べやすい「煮なます」（写真中央）をご紹介します。

### お正月料理「紅白なます」

#### ●作り方（4人分）

- ①ダイコン中1本（500g～600g）、ニンジン小1本（50g～60g）を火の通りをよくするためなるべく細かく千六本切にし、塩をふりかけ10分程度そのままにしてしなやかにします。その後、水で塩分を流して軽くしぼります（ギュッとしぼりすぎない）。フライパンにサラダ油を適量入れて温め、スプーンで①の生地をすくって焼きます。
- ②しらたきはアク出しをしてから、包丁で切り目を入れ、少し太めで千切りします。また、油揚げも湯通しをして千切りします。
- ③フライパンをあたたためて、サラダ油大3を入れ、絞った①を入れて炒めます。しんなりしてきたら②を入れ、塩・コショウ少々、砂糖大3、顆粒だし大1を加え、その後、昆布つゆ大2、酢1.5を加えて味



- が整ったら、最後にラー油やゴマ油などを少々ふりかけます。なお、味は好みがありますので、砂糖や昆布つゆ、酢などを加減しながら調整してください。
- ④しらあえ（写真右） 出来上がった煮なます一掴みぐらいに、小さい絹豆腐（100g ※少し日持ちのするもの）1個をレンジであたためて水気をとってから混ぜ合わせるだけで、「しらあえ」ができます。好みで砂糖や塩を少々加えてもいいです。また、煮なますは包丁で切り目を入れた方がよいかもしれません。
- ⑤また、ゴマペーストやピーナッツバターペーストと青葉などを加えて煮なますとあえるだけで、「濃厚な」煮なますになります（写真左）。

高田訪問介護課 板倉寛子（介護食士）

すし、福祉の最前線に立っている専門職の重要な役割です。昨年暮れ、11月中旬の変更申請に対し、要介護

5が認定されました。「さあこれから、介護という未知のものに向って、一生懸命頑張ろうと決意した」とご主人は明るく話

されます。年齢を感じさせない顔の艶と張りほそれだけでも、章子さんやご主人の未来を明るさで包んでくれるようでした。

ご主人はSL「D51」の運転手



# 大盛況！

## 上越福祉機器展が初めて開催される

### 当地初登場の福祉用具と 介護用具の品々に関心が……



①会場の上越観光物産センターと  
②来場者でにぎわう会場内

昨年の11月9日、上越観光物産センター（上越市藤野新田）におきまして、上越地域では初めてとなる「上越福祉機器展」が開催されました。

このイベントは、福祉

用具供給事業者に関する国内唯一の広域団体である社団法人日本福祉用具供給協会が、10月1日の「福祉用具の日」にちなんで全国各地で開催している行事の一つです。

新潟県では昨年、上越地域では初めてとなる福祉機器・福祉用具の総合的な展示会として「上越福祉機器展」が開催されました。

さくらメ  
ディカル  
は、同協会  
の賛助会  
員（北関東  
支部新潟ブ  
ロック）と  
して、上越地域  
では今まで前例  
がなかった大規  
模な展示会の企  
画・準備を中心  
的に担当しまし  
た。



メーカー担当者と熱心に話し込む来場者

試されて  
おられま  
した。な  
かに「新  
潟県内初登  
場！」の  
新商品も  
あり、メ  
ーカー各  
社のブ  
ースでは、

では見る機会がなかった福祉用具や介護用品が一堂に集まり、内容の濃い展示会となりました。当日は午前10時から午後4時までの限られた時間の中、上越地域の居宅介護支援事業所や地域包括支援センターのケアマネジャー様をはじめ、福祉施設や病・医院の専門職の方々、さらに一般市民の方々に至るまで幅広い方々がご来場され、会場いっぱいのおさまざまな福祉用具を熱心に見学されたり、実際に手に触れて

雪原の赤い目  
ピョンとはね  
耳をアンテナに  
新しい世界の始まりを  
ピョンとはねて  
お祝いする



### 生き物詩シリーズ④

詩 国見 修一（詩人・上越詩を読む会 妙高市）  
絵 山本みゆき（子どもへの読み聞かせサークルでの活動 上越市）

### うさぎ

上越地域では初めてのイベントで当日の運営やご来場者数など未知なことばかりでしたが、国内を代表する大手メーカー31社が趣旨に賛同して遠路はるばる集結してくださり、今まで上越地域

メーカー担当者の説明を熱心に聞き、メモをとる光景があちこちで見られ、福祉用具に対する関心の高さを実感しました。また同時に、今までこの

### 中越ブロック通信 魚沼営業所



越後三  
山・巻機山

を馳せつつ日々、地域の皆様とお付き合いをさせていただいております。魚沼営業所は、関越自動車道の「六日町IC」を下りて東京方面（塩沢石内方面）へ5分ほどの国道17号線沿いにあります（正面ガラス扉のさくらマークや「介護用品」ののぼりが目印です）。担当している地域は、魚沼地域と南魚



に日々切磋琢磨し、お客様本位のサービス提供に励んでおります。日頃、お客様から頂戴しております一言ひとことのお言葉に元気づけられており、感謝の気持ちを感じたい注ぎ込んで仕事に取り組んでおります。私たちのこのような仕事を通じて、地域の皆様に住み慣れた街で、笑顔でいきいきと暮らし続けることができるように、福祉と介護のお手伝いにお役立ていただければ幸いです。どうぞ今年もよろしくお願いいたします。

### 少数精鋭、サービスの密度濃く 彩り豊かな四季の表情に 郷愁の想いを馳せつつ

などの名峰を仰ぎ、雪解けを告げるカタクリやこぶしの花が咲く春。清流魚野川に若鮎おどる夏。収穫前の「魚沼コシ」が水田を黄金色に染める秋。一面の景色を雪化粧で包む冬……

私たちが魚沼営業所では、そんな彩り豊かな四季がみせる表情に郷愁の想いを馳せつつ

ように、福祉と介護のお手伝いにお役立ていただければ幸いです。どうぞ今年もよろしくお願いいたします。

魚沼営業所 所長 小田原 崇

ような機会が少なかったことも痛感しました。

昭和63年の創業以来約25年間、「福祉用具の普及」を使命としてきました。今年も、地域やご自宅

「世」の実現に向けて、よりよい福祉用具やサービスの提供に取り組んでまいります。

上越営業部 清水大輔  
(福祉用具専門相談員)

# 柚子湯に入って健康になろう

## さくらメデイカルの訪問入浴介護サービスの事業所が特別企画



⑤ 柚子を持って気持ちよさそうな伊倉さんに3人はニッコリ



① 小雪混じりの悪天候の中、スタッフは車を走らせ利用者さん宅へ



⑥ 頭を洗うと「気持ちいいよ」の言葉と笑顔がうれしい



② 車から湯ぶねを降ろして(右)、ホースでお湯を室内へ(左)



⑦ お湯もれを防ぐシートをはがして帰り支度



③ 利用者さんの健康状態をチェック



⑧ ありがとう……の言葉に笑みがこぼれる



④ お湯を張って、柚子をお風呂に

日本では、古来より冬至に柚子ゆずの湯に入浴する習慣があります。血液の流れを良くする血行促進効果が高く、古くよりひび・あかぎれを治し、風邪の予防になると伝承されてきました。現代でもお風呂で、冬至の日にちなみ柚子湯を用意する家庭があるようです。しかし、確実にその風習は過去のものとなりつつあることも確かです。

伊倉さんは、犀潟鉄工所に常務取締役として73歳まで勤務しておられました。今は娘さん夫婦と10匹の猫に囲まれ、好きな時代小説を読んで暮らしておられます。3カ月ほど前に目の手術をしてもらい。それ以来不便だった読書もまた前のように楽しめるよう

なりましたと言われました。訪問入浴サービスは週2回。「健康で暖かい」お風呂が楽しみと、伊倉さんはおっしゃいました。10匹の猫に囲まれて、中でも体重が8キロもある



我輩八体重8kgナリ

猫ちゃんは、病気で退院

してきたばかりというところで、「入院費は人間より高かった」と笑われました。

### シヨップ便利用品ご案内

#### あったか ひざかけ

どこでもポカポカ、あったかさを持ち運べる充電式のひざ掛けをご紹介します。

一回の充電(1〜3時間)で約3時間使え、電気代は一回当たりわずか0.6円と省エネ。

節電への関心が高まっている今冬、暖房を控えたいけどやっぱり寒い…と悩んでおられる方も多いようです。この充電式ひ

ざ掛けは、そんな省エネ志向の方にもおすすめです。

コードレスなので居間や寝室、事務所や屋外など場所を選ばずどこでも使えます。

緊急時や暗い場所でも手元を照らすのに便利なLEDライトも付いたちょっと便利なあったか商品です。

## 寒い冬でも快適に「あったかさ」を持ち運び

充電式ひざ掛け(ライト付)

充電式ひざ掛け(ライト付) 0.6円一回充電代

どこでも暖かさを保てるLEDライト付

充電式のひざ掛けに

LEDライト

eco mode

3時間充電

定価:7800円(税込)  
寸法:約60×45cm  
質量:約200g